

スポーツを通して

中国吉林省東北師範大学派遣者 竹中 和彦

宿舎から徒歩3分のところに動植物公園があります。早朝と夕方は開放されるので、たくさんの人たちが散歩やジョギング、踊り、太極拳などを行っています。これらの光景はここに限らず多くの公園や広場で目にします。特に踊りについては、老若男女を問わずポップな曲をバックにしたエアロビクス風のものや、中国の歌に合わせポンポンのようなものを手にしたおばちゃん集団(笑)によるもの等、見ていてとても愉快になります。曲は小さなラジカセに大きなスピーカーをつなぎ大音量で流しており、踊りにかけるその意気込みが伝わってきます。

ここ長春で人気のあるスポーツといえば、バスケット、サッカー、卓球等でしょうか。また大きな広場ではローラースケートをしている若者の姿もよく見かけます。

私は1、2週間に1度、近くのプールに泳ぎに行きます。長春は冬には零下20、30度にもなる高緯度に位置しているので水泳をする人はあまりいないのだろうとっていたのですが、たくさんの人が泳ぎに来ています。

先週末、寝台列車で8時間弱かけて大連に行って来ました。大連は日本の企業も多く進出している、きれいな港町です。山あり海ありで、私の中では神戸のようなイメージです。

大連では毎年、国際マラソン大会が開催されています(今年は第22回)。明らかに練習不足の状態でしたが、中国のマラソン大会の雰囲気味わいたく参加することにしました。参加者名簿によるとフルマラソンの参加者は800名程度いるのですが、当日の参加者は400名程度だったでしょうか。

交通規制が予想以上にしっかりなされ大通りの真ん中を気持ちよく走れました(もちろん後半はそんな余裕はありませんでしたが・・・)。沿道は一般の見物人で埋め尽くされ、コース途中にはおばちゃん演奏(タイコやカスタネットのような楽器)隊!?!が、また「58(私のゼッケン番号)」「F i g h t i n g !」「加油(=頑張れ)日本!」と熱心に応援してくれる人も多く、ローカルでとても楽しい大会でした。私を日本人と知った上で声援してくれる・・・これはとても嬉しいことです。

マラソン大会の雰囲気を味えたのと同時に、車ではなく自分の足で走って街中を観光できたので、まさに一石二鳥でした。

中国ではオリンピックを控え、テレビで連日のようにオリンピックに向けた特集が取り上げられ、また、ニュースの冒頭ではオリンピックまでのカウントダウンが行われています。

オリンピックに絡んだ様々な政治的なことが問題となっていますが、各国のそんな思惑とは無関係に、市民レベルではスポーツを通してごく自然に交流が深められるのだなあ実感した一日でした。

(2008年4月27日)